

未 来 館

“自分らしさ”を生かした未来へ

NEWS

2009.3

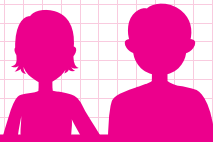
No. 35

特 集

福島県の高校生ジェンダー環境に関する調査

平成19・20年度

自主研究結果報告



今回の特集では、平成19年度に福島県の県立高等学校の教員と生徒を対象に実施した、「福島県の高校生のジェンダー環境に関する調査」の結果について概要を報告します。

福島県の 高校生のジェンダー環境

に関する調査

平成12年度に行った調査から7年が経過しました。

その間、県立高校の男女共学化や男女混合名簿の導入、また当センターにおける教師を対象とした研修などさまざまな取り組みがなされてきましたが、教師や生徒達を取り巻く環境や意識はどのように変わってきたのでしょうか。

そこで、前回のデータと比較するために、前回と同じ次の4つの視点から教師と生徒に対してアンケート調査を行いました。

1

高校生や教員の目に学校、家庭、社会等における男女の地位がどのように映っているのか

2

学校や家庭において、女子と男子では扱われ方に違いはあるのか、または教員や保護者の接し方に違いはあるのか

3

高校生及び教員の男女についての考え方がどのようなものか

4

既存のもしくは予想される男女共同参画プランや考えられる施策にどのような反応を示すのか

調査の方法

対象高校、質問項目は前回と同様に設定して、平成20年1月に各学校の協力のもと、教員と生徒に質問紙を配布して同年3月までに回収した。

※全調査対象高校が男女共学となったため男女別学に関する設問は削除した。

配布数：生徒用4,446部 教員用801部
回収数：生徒用4,424部 教員用716部
回収率：生徒用99% 教員用89%

■生徒の基本属性

度数 (%)		度数 (%)		度数 (%)	
女子	2,357 (53.3)	1年生	2,497 (56.4)	東北	824 (18.6)
男子	2,049 (46.3)	2年生	1,103 (24.9)	県中	823 (18.6)
無回答	18 (0.4)	3年生	489 (11.1)	県南	353 (8.0)
		無回答	335 (7.6)	会津	902 (20.4)
				相双	579 (13.1)
				いわき	943 (21.3)
				無回答	0 (0)

■教員の基本属性

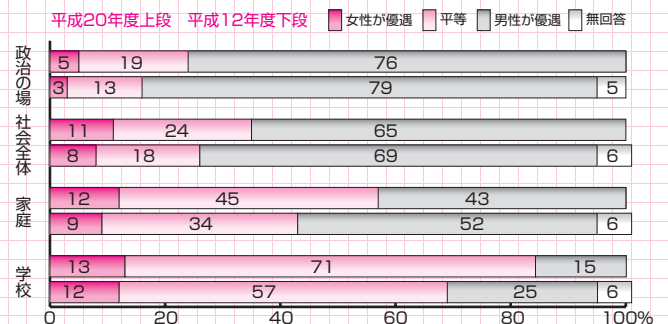
度数 (%)	度数 (%)	度数 (%)	(女性・男性・無回答)			
女性	292 (40.8)	東北	112 (15.6)	家庭	36 (5.0)	(36・0・0)
男性	407 (56.8)	県中	136 (19.0)	外国語	115 (16.1)	(55・60・0)
無回答	17 (2.4)	県南	61 (8.5)	国語	92 (12.8)	(48・44・0)
		会津	178 (24.9)	社会	76 (10.6)	(9・66・1)
		相双	82 (11.5)	商業	39 (5.4)	(5・34・0)
		いわき	145 (20.3)	数学	88 (12.3)	(25・63・0)
		無回答	2 (0.3)	保健体育	63 (8.8)	(22・41・0)
				理科	73 (10.2)	(33・39・1)
				その他	89 (12.4)	(39・50・0)
				無回答	45 (6.3)	(20・10・15)

1 高校生や教員の目に学校、家庭、社会等における男女の地位がどのように映っているのか

◎ 教員：学校や社会などにおける男女の地位

前回と比較して、各項目とも「女性が優遇」または「平等」の割合が増え、「男性が優遇」の割合が減った。特に「学校」については、「平等」が14%増加して7割を超えた。

家庭については前回より「平等」が11%増、「男性が優遇」が10%減となり、「平等」と「男性が優遇」がそれぞれ約4割と同程度となった。

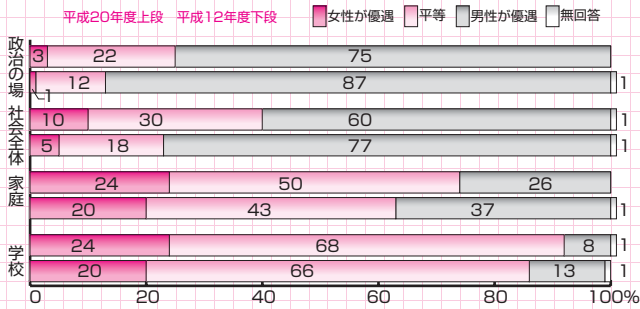




生徒：学校や社会などにおける男女の地位

前回と比較して、各項目とも「女性が優遇」「平等」の割合が増え、「男性が優遇」の割合が減った。学校だけが、前回同様「女性が優遇されている」と評価した割合が「男性が優遇されている」と評価した割合を上回っており、さらにその差が拡大している。

家庭では「平等」が5割、「女性が優遇」と「男性が優遇」がほぼ同じ割合になっている。



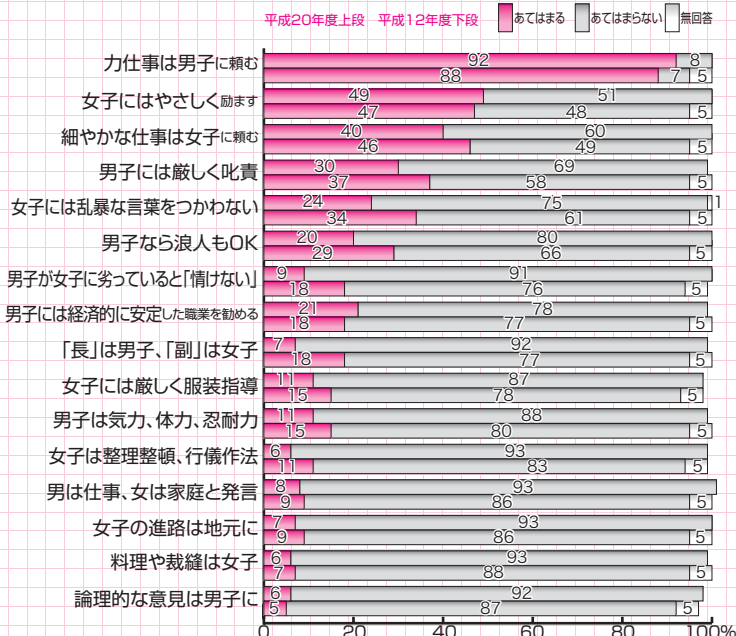
2 学校や家庭において、女子と男子では扱われ方に違いはあるのか、または教員や保護者の接し方に違いはあるのか

(1) 学校

教員:生徒の性別によって区別した扱いどの程度肯定しているのか

前回と比較して、「力仕事は男子に頼む」、「女子にはやさしく励ます」、「男子には経済的に安定した職業を勧める」を除く全ての項目で、「当てはまる」が減り、「当てはまらない」が増えている。

特に大きく変わったのは、「男子が女子より劣っていると『情けない』と言う」、「『長』は男子、『副』は女子」で、どちらも「当てはまる」が約10%減り、「当てはまらない」が15%増えた。

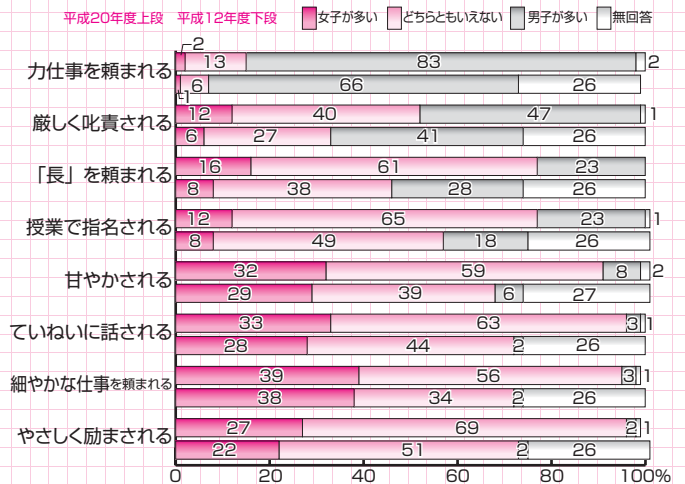


生徒：学校における生徒の性別による扱われ方の違い

男子：「力仕事を頼まれる」が前回より17%増加して約8割、「厳しく叱責される」が前回よりも13%増加して5割となっている。

女子：「細やかな仕事を頼まれる」が約4割、「甘やかされる」「ていねいな言葉で話し掛けられる」「やさしく励まされる」が約3割で、前回とほぼ同じ割合だった。

また、「長がつく役割を頼まれる」割合は、前回よりも女子が8%増加し、男子が5%減ったため男女差が大きく縮んだ。



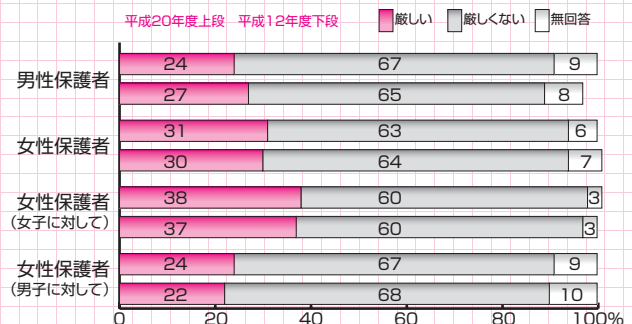
(2) 家庭

生徒：保護者から「女らしさ」「男らしさ」についてどの程度厳しくしつけられたか

全体的な割合は前回と同様の傾向だった。

保護者の約3割が「女らしさ」「男らしさ」について厳しく指導していると、生徒に認識されている。

とくに女性保護者は女子に対して厳しくしている割合が多く(38%)、男子には厳しくないという割合が多かった(67%)。

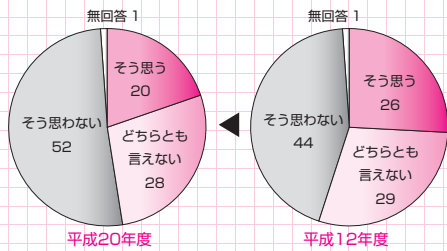




3 高校生や教員の男女についての考え方がどのようなものなのか

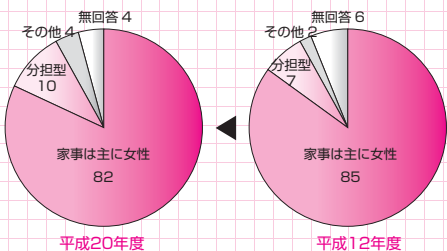
◎ 教員：男女の区別と差別

「男女を性別によって区別することは差別につながる」に対し「そう思わない」と回答した教員が前回より増加して5割を超えた。



◎ 生徒：保護者の性別役割分業パターン

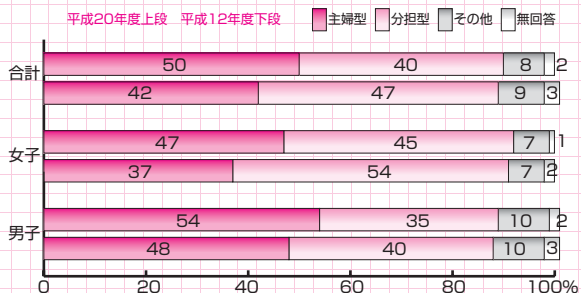
生徒は、約8割の家庭で主に女性が家事責任を担っていると認識しており、前回とほとんど変わらない結果だった。



◎ 生徒：理想とする夫婦の役割分担パターン

全体では、主に家事責任を女性が担う「主婦型」を理想とした者が5割、家事を夫婦で分担する「分担型」を理想とした者が4割だった。

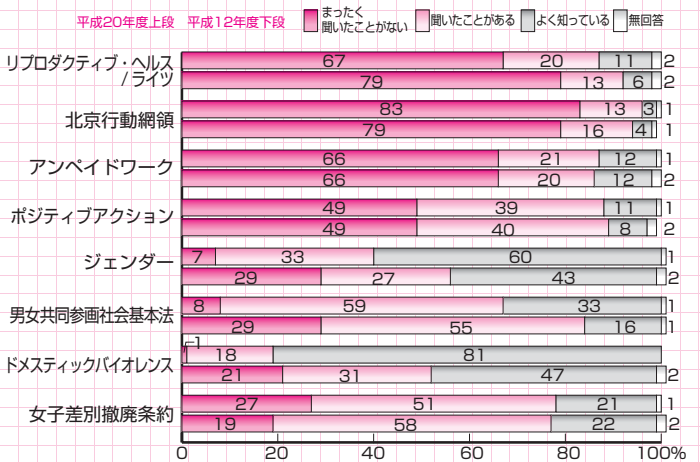
前は全体で「分担型」が若干多かったが今回は逆転し、「主婦型」が「分担型」を10%上回った。また、全体、女子、男子すべてにおいて「主婦型」が増え、「分担型」が減少した。女子と男子では前回同様、女子のほうが「分担型」を理想とした割合が多かった。



4 既存のもしくは予想される男女共同参画プランや考えられる施策にどのような反応を示すのか

◎ 教員：男女共同参画に関する用語の既知度

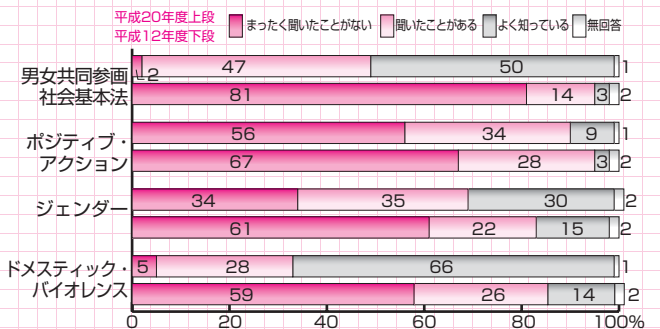
「男女共同参画社会基本法」「ジェンダー」「ドメスティック・バイオレンス」について、「まったく聞いたことがない」と回答した教員は1割未満となり、前回に比べて大きく認知度が上がった。特に「ドメスティック・バイオレンス」は「よく知っている」と回答した教員が前回よりも34%増え、8割となった。



◎ 生徒：男女共同参画に関する用語の既知度

「ポジティブ・アクション」以外の用語に関して、「まったく聞いたことがない」が減り、前回よりも大きく認知度が上がった。

特に大きく変化したのは「男女共同参画社会基本法」と



「ドメスティック・バイオレンス」で、どちらも「まったく聞いたことがない」が前回よりも50%以上減り、「よく知っている」が半数以上となった。



まとめ
教員
について

前回と比較すると、「学校」「家庭」「政治の場」「社会全体」の各項目において平等であると評価した割合が増えたが、政治や社会全体については「男性が優遇」と評価した割合が約7割で、教員は社会にはまだまだ男女格差があると認識しているようだ。

男女を区別した扱いをした経験については、大部分の項目で「あてはまらない」と回答した教員の割合が増えた。しかし、ほとんどの教員が学校内のさまざまな場面で男女は「平等」と評価した一方で、「男女を性別によって区別することが差別につながる」に対して「思わない」と回答した教員の割合が前回よりも増えた。教員は、男女を性別によって区別することは差別につながらないという認識がより強くなっているようだ。

男女共同参画に関する施策への関心度については、保育・介護サービスの充実と男女混合名簿の2項目だけが「必要だ」と回答した教員が前回よりも若干増えた。男女共同参画に関する用語に関しては、「ジェンダー」「男女共同参画社会基本法」「ドメスティック・バイオレンス」の3つが前回よりも大きく既知度が上がり、9割以上の教員がこれらの言葉を知っていることとなった。この結果は、前回との比較で最も大きく変化した点である。

まとめ
生徒
について

教員と同様、「政治の場」「社会全体」「家庭」「学校」の各項目で前回よりも「平等」と回答した割合が増えたが、6割以上の生徒が政治の場や社会全体で男性が優遇されていると認識している。

学校における生徒の性別による扱われ方の違いに関して、生徒の認識では前回と同様にいくつかの項目で違いがみられたが、ほとんどの項目で「どちらともいえない」と回答する生徒が増えた。

家庭内においては、前回と同様に生徒達は、男性と女性の役割分担が存在し、8割の生徒が家事は主に女性が担っていると認識しているようだ。

また、理想とする夫婦の役割分担パターンは、男子・女子ともに「主婦型」を選択した割合が「分担型」を上回るという結果になった。こうした結果の背景には、例えば、最近の経済状況や雇用問題、さらに仕事と家庭の両立の困難さなどといったさまざまな要因があると考えなければならないだろう。

男女共同参画に関する用語については、教員と同様に「ジェンダー」「男女共同参画社会基本法」「ドメスティック・バイオレンス」の3つが大きく既知度が上がった。

今後も男女共同参画社会づくりの担い手となる生徒達のために、さまざまな情報を提供するとともに社会環境を整えていくことが必要であろう。

自由記述の中から特に多かった意見等をまとめていくつか紹介します

これまでの教員生活の中で、女子生徒と男子生徒のそれぞれについて、とくに留意して指導していることがありますか。もし、ありましたら、自由に書いてください

- 男らしく、女らしくではなく「自分らしく」をキーワードに授業の中で話をしています。生徒たちにとって身近な大人が両親であり、両親のあり方が生徒の男女の生活における基礎を作っているのだと考えます。学校での指導だけでなく、社会全体で取り組み、小さいころから男女平等の夫婦関係を身近で見せる必要があると思います。
- 女子生徒を指導するとき、セクシャルハラスメントにならないように気をつけている。(例、個室での指導や接触をしない。個室指導の時は、女子教員立ち合いの下で行なう。)
- 体力面では、男子と女子に違いがあるため、重い物の移動や手伝いは、男子に頼む。
- 特に意識しているわけではないが、厳しく叱責して指導することは、女子にはあまり行わないことが多い。一方で服装指導や身のまわりの整頓などについては、言われてみれば男子にくらべて女子に対して厳しいと思うことがある。そんなつもりはないのだが、自然と「女子は女子らしく」といった指導をしているということなのかと考えさせられた。
- 男女にはそれぞれ特性があり、その特性を生かして教育することが必要である。その特性を無視して、単に「平等」だけが先行している場合が多く見られる。男女がお互いを敬いながら、それぞれの役割を果たしていくことが大切である。

学校や家庭、地域の中で男女間での不平等を感じるものがあつたら、自由に書いてください

- 映画館ではレディースデイがあって割引してもらえるのに、男には安くなる日がない。
- 女子更衣室があるのに、男子更衣室がないこと。
- 先生は男子にはきつく叱りつけたりするが、女子には優しいと思うことがある。
- 家で「女の子だから」という理由で、よく家事を手伝われる。
- 「男だから」と力仕事をさせられる。
- 女子は、髪の長さなど、先生にあまり言われませんが、男子はすごく厳しい。
- バイトで男の方が高い時給。
- 男女平等が過剰過ぎて、最近は女性優遇の傾向にあると思う。
- 制服が女子はスカートで男子はズボン
- 正社員はほとんどが男性

事業報告

report

1

男女共生グローバルサポーター事業「女性リーダーコース」帰国報告会

日時：平成21年1月31日（土） 場所：福島県男女共生センター



当センターでは、国際的視野を持った女性リーダー育成のため、海外視察研修派遣事業を行っています。

今年度はオランダコースに佐藤洋子さん（郡山市）と高橋英子さん（伊達市）、ドイツコースに永田貴子さん（白河市）と初瀬富士美さん（いわき市）が派遣され、海外研修で学んだ成果を発表するために「帰国報告会」を開催しました。



表 孝雄さん

会の準備から運営までを4名の派遣者が行い、オランダの多様な教育システムやワークシェアリング、ドイツの若者と高齢者が交流する多世代共生住宅などについて実情と感想を交えながら報告し、海外研修での様子をよりわかりやすく伝えるためにパネルも作成して会場内に展示しました。

また、関連イベントとして国際協力機構（JICA）二本松青年海外協力隊訓練所長の表孝雄氏による特別講話「どう活かす？あなたの海外体験～海外体験者だからできること」を開催し、これからやってくる多文化共生の時代に、私たちが考えていかなければならないことについて、お話しいただきました。



report

2

団体との連携講座開催事業 in 須賀川市 第2講座

日時：平成21年2月7日（土） 場所：須賀川市中央公民館



安藤 哲也さん

NPO法人ファザーリング・ジャパン代表理事 安藤哲也さんをお招きし、「パパだって、楽しんで子育て！～仕事と家庭、豊かな人生のバランスを考える～」と題して、父親（男性）が積極的に家事や育児・地域活動に関わることの大切さや、またはどう前向きに関わっていくか等についてお話しいただきました。

続いて、安藤さんをコーディネーターに、(有)久保木畳店社長 久保木徹朗さんと須賀川市女性団体連絡協議会

須賀川市・須賀川市女性団体連絡協議会との共同開催で実施しました。
70名以上の市民の皆さんが参加しました。

理事 鈴木さと美さんをパネリストとして、パネルディスカッションを行いました。お二人からは、家族の絆を大切にしていくために、楽しみながら子育てと仕



鈴木 さと美さん



事を両立する生活のコツや苦労話、地域活動に関わることの大切さをお話しいただきました。

久保木 徹朗さん

男女共同参画基礎講座 「いわき発『ワーク・ライフ・バランス』セミナー」

日時：平成21年2月16日（月）

場所：いわき芸術文化交流館「アリオス」



劇団「稲庭うどん」による寸劇

「男女共同参画トップセミナー」との共同主催、
いわき市商工会議所・同会議所女性会の共催で実施しました。
企業経営者・市民の皆さん、
県内市町村の男女共同参画推進部局担当者など
約160名が参加しました。



渥美 由喜さん

(株)富士通総研 主任研究員 渥美由喜
さんから「ワーク・ライフ・バランスによる
職場活性化で不況を突破する!」と題し
た基調講演をいただきました。

NPO 法人ファザーリング・ジャパン代
表理事 安藤哲也さんのシナリオによる、寸劇「サービ
ス残業の果てに・・・」を地元いわき市内の
コント集団「稲庭うどん」が、シリアスな
内容をコミカルに上演しました。

最後に、渥美由喜さんと安藤哲也さんによる
「ワーク・ライフ・バランスは職場にも家庭にも
好環境!」と題し対談をしていただき、「ワーク・
ライフ・バランス」の大切さを、体験談を
交えて、分かりやすくお話しいただ
きました。



安藤 哲也さん

平成20年度 男女共生講演会 (会津若松市)

日時：平成21年2月21日（土）

場所：会津若松市文化センター

内 容

1. 男女平等に関する作文コンクール及び男女共同参画推進
事業者の表彰式（会津若松市主催事業）
2. 記念講演会
 - 第1部 愛川欽也氏監督映画「いつも二人」上映
 - 第2部 愛川欽也氏と下村満子館長のトーク

愛川さんは、パートナーのうつみ宮土理さんとのことを
ご紹介しながら夫婦がいきいきと元気に生きるための秘
けつや、いじめ問題、マスコミ・テレビの問題などにつ
いてお話くださいました。会場では420名の参加者が愛
川さんの軽妙なトークに引き込まれ、楽しみながら男女共
同参画社会について学びました。



愛川欽也さん主演・監督映画作品「いつも二人」の上映会と
愛川欽也さんと下村満子館長とのトークを開催しました。

※このイベントは、平成12年2月27日に「男女共同参画都市宣言」をした
会津若松市の男女共同参画都市宣言記念行事として開催しました。

平成19・20年度 福島県男女共生センター 公募研究中間発表

日時：平成21年2月23日（月）
場所：福島県男女共生センター

県内市町村の男女共同参画推進担当者を中心とする約40名の参加者のみなさんが、男女共同参画社会の実現を進める上で中核となる女性関連施設の職員のあり方等について、考えを深めました。



内藤 和美先生

公募研究を行っている群馬パース大学保健科学部教授の内藤和美先生から「女性関連施設事業系熟練職員の実践の分析～発揮されている能力要素とその相互関係」と題し、公募研究の概要等の中間発表があり、女性関連施設で働く職員の雇用の不安定さの問題や職員の能力発揮のためには、しっかりとした研修制度や専門の免許制度等の創設が必要でないかという提言がありました。

この中間発表にさきがけて、午前中には、福島県人権男女共生課主催による「市町村男女共同参画推進研究会（二本松会場）」を行い、いわき市、福島市、会津美里町の担当者がこれまでに取り組んできた事例を発表しました。

集まった市町村の担当者からは、今後の事業実施の参考にしたいとのことから、多くの質問があり、大変有意義な事例発表会となりました。

いわき市

発表者：いわき市市民協働部
男女共同参画センター
主査 篠原美紀さん

事 例：「転入女性交流のつどい」



福島市

発表者：福島市総務部
男女共同参画センター
副主査 菊田由佳さん

事 例：「女性の自立支援講座
『今を生きる私たちのための
Find myself セミナー』」



会津美里町

発表者：会津美里町総合政策課
副主査 横山美代子さん

事 例：「男子厨房に入る
『父ちゃんと作ろう
会津郷土料理教室』」



平成21年度 事業計画

	事業名	事業概要
普及啓発事業	男女共生講演会	「21世紀の人間らしい生き方」等をテーマとした講演会
	未来館トークサロン	県民と館長との懇談会
	未来館アートメッセージ	「生き方」等をテーマとした映画上映（従来の「シネマ倶楽部」）や 県民参加による演劇、写真展等
	「自分らしさ発見」講座	県内中・高校生を対象とした、さまざまな職業に従事する 先輩とのトーク等を行う講座（中・高校出前講座）
研修事業	未来塾	地域における男女共同参画社会を積極的に推進する 中心的な役割を担う人材を育てる講座
	男女共同参画基礎講座	男女、世代等、特定の対象を設定し、そのライフステージにおける共通、 特色的な課題をテーマとした講座
	女性のチャレンジ応援講座	就職・再就職等に役立つスキルアップ講座（従来の「女性就業援助技術講習会」の改編）
	教師のためのヒューマンライツセミナー	教師を対象とした男女共同参画や人権について考える総合的な講座
	健康セミナー	心や身体について具体的なテーマの講座
	未来館ボランティアセミナー	センターで活動するボランティアを対象とした講座（養成講座、分業別研修等）
	市町村男女共同参画担当者研修	市町村職員を対象に、新任者向け研修、事業等実施に向けた担当者研修を実施
	研修講師派遣事業	市町村、NPO等各種団体における研修、学習会等の講師として、センター職員を派遣
交流関連事業	未来館フェスティバル	県民が企画・実施するイベントを募集し、実施する県民参加イベント（9/5・6予定）
	未来館誕生10周年記念事業	平成23年1月18日の開館満10年に向けて、これまでのセンターの取り組みを確認し、 拠点施設としての役割をあらためて周知すると共に県民相互の交流促進を図る
	国際的な事業	国際的な視点から今後の課題を県民とともに考えるきっかけを提供するイベント
	男女共生グローバルサポーター事業	県内女性を海外に派遣し、帰国後積極的に活動できる国際的視野を持った リーダーを育成する
	団体との連携講座開催事業	NPO等各種団体と市町村との協働により、「男女共同参画」「子育て支援」等の講座を、 企画段階から連携して実施する講座
自主事業	未来館パソコン講座	パソコン操作のスキルアップを図るための講座
	コミュニケーションスキルアップ講座	コミュニケーション能力向上のための手法を習得する講座
	企業研修（仮称）	県内企業研修向け講座
情報事業	図書室運営	男女共同参画に関する情報や資料を提供することを目的とした専門図書室 ジェンダー学・女性学・男性学・女性史といった分野の図書・行政資料の収集、閲覧、貸出
	各種情報発信	広報誌（年4回）やメールマガジン（毎月）の発行 ホームページによる、当センターの事業活動及び男女共同参画情報の発信（通年）
調査研究事業	公募研究	「外国人研修・技能実習制度」にかかわる男女平等の労働環境構築のための 『アクションプラン』策定と派遣国の実態把握に関する国際比較・調査研究 研究代表者坂本 恵（福島大学行政政策学類准教授） 研究期間平成22年3月まで
	地域課題委託調査研究	県内の団体や個人からの提案に基づき、男女共同参画に関わる調査・研究を委託する
相談事業		一般相談、専門相談（法律、健康）、チャレンジ支援相談の実施
介護実習・普及センター事業		県民への介護技術の普及および地域介護指導者の養成

チャレンジする女性 Woman Who Challenges

今回のチャレンジする女性は、自身の海外生活を活かし、
外国語スクール、国際交流関連の事業を
手がける会社を起業したドラビゾン純恵さんです。

いしやま すみ え

ドラビゾン(石山)純恵さん
株式会社クリフ 代表取締役社長

起業したきっかけは？

実は今の会社は再起業で、以前は共同で外国語スクールを経営していました。自社校舎を持つほどに成長し順調でしたが、わけあって離婚することになり退任しました。その時は、また新たに起業するつもりは無く就職することを考えました。ある社長さんに「あなたを採用する社長はいない。何故ならあなたを採用したら会社を乗っ取られる心配をしなくてはならない。あなたは自分で道を切り開いていく人。ぐずぐずしていないで早く起業しなさい！」との励まし？の言葉をいただき、起業することを決意しました。

地元なので人脈などはありましたが、全く一人で会社を立ち上げるのは初めてでしたから本当に大変でした。特に全て一人で決断しなくてはならないところが非常に苦しかったです。「経営者は孤独だ」とよく言われますが本当にその通り。しかもプライベートでも孤独ですから(笑)慣れるまでは辛かったです。ただ、それは自分の気持ちの問題ですからコントロールしていくしかありません。現在は社員という形では、人を雇っておらず時間給で働いて貰っている方が6名います。とはいえ、彼らの生活には責任がありますから、私がしっかりしないとイケません。



仕事で一番大変だと思うことは何ですか？

ズバリ人間関係です。言葉が誤解を生んでしまったり認識や意識の微妙なすれ違いがあったりして苦勞することがあります。私は外国生活の経験が長いせいか、物事をあまりはっきりさせずにあやふやにしたまま進めてしまう事がどうも苦手なんです。しかし、こういうことがビジネスでも結構多いと感じます。それは、いい意味で「あ・うんの呼吸」とか「信頼関係」なのでしょうが、私にとっては、しっかりこない。後になっていろいろな誤解やすれ違いが生じる原因でもあり、私自身もそれで失敗した経験がありますから、私は、はっきり言うし、わかるまで聞くことにしています。それが受け入れられない時も多いのですが。失敗から学んで、反省して次に繋げていくことが大事かと思えます。「ピンチは最大のチャンス」と言うように、トラブルをチャンスに変えていきたいです。当然、落ち込むこともありますけど。意外と気が小さいんですよ。(笑)他人にとっては小さな問題でも、自分にとっては大きな問題だったりすることもあります。ただ、一気にかぐんと落

ち込むけれど、だらだらと引きずらないし立ち直るのも早い。私の場合、落ち込んだり気分が沈んだりした時は、きれいな洋服を着たり、美容室に行ったり、マニキュアの色を変えたりして、見た目から変えることを大事にしています。そうすると、気分が変わって自然と気持ちも明るくなります。



苦しい時やつらいなと思うとき、どうやって乗り越えてきましたか？

そういう時は、自分が苦しいことやイヤだなと思うことを一つひとつ紙に書き出してみます。そうすると、不思議と「なーんだ、たいしたこと無いじゃん」と思える。当然、目標など何でもこまめに書きます。紙に書くと、それがどうしてイヤなのかわかるというか、自分の感情を客観的に見ることができるからかもしれませんね。そうすると、落ち込んだり嫌だなと思ったりする理由がそれほど見あたらなくなります。タスクも当然書き出して、一つひとつこなして消していくという感じです。もともとマメな性格だということもあるかもしれませんが、これはビジネスから学んだことです。そして、離婚の経験からも更に学びました。書類をそろえる、必要なものを洗い出すという作業がものすごくたくさんあったので、自分が今やらなければならないことをすべて書き出して整理しました。自分が想定していなかった出来事でしたから、その時は動揺してしまいましたが、自分の置かれている状況や感情を客観的にみることで、やるべき事を冷静に考えて行動できるようになりました。離婚という辛い経験をプラスにすることができたから、今の自分があるのだと思っています。だから、今はずっと充実していますしストレスフリーの生活を送っています。



目標としている人や人物像はありますか？

特別にこの人みたいになりたいという具体的な人物はいないのですが、穏やかに、いつもまっすぐ前を向いて歩いていくような人間になりたいと思っています。それから、分かりやすく言えば、今大人気の大河ドラマ「天地人」の直江兼統のような人に支えてもらえるような人間、常に自分を慕って人が集まってきてくれるような魅力のある人間



プロフィール

昭和37年、福島市生まれ。桜の聖母学院高等学校卒業後上京、武蔵野ビジネス専門学校卒業。20歳の時にフランス、ギリシャへ一人旅にでかけたことが現在の仕事の原点となる。海外と日本の往復生活をするうちに輸入関係の仕事を始め一緒に仕事をしていたパートナーと国際結婚。夫と共に外国語スクールを起業するがその後離婚。平成20年2月、株式会社クリフを再起業し現在にいたる。会社では外国語に関わる様々な事業を展開している。12歳と10歳の息子達と3人暮らし。英語を始め、フランス語、ギリシャ語が堪能。昨秋より福島市行政改革アドバイザーも務めている。

になりたいです。

それから、何にでも批判的で文句ばかり言っても、それは単なるグチにすぎず、状況は何一つ変わりません。すべて人のせいにして、自分が変わろうとしないのは、よくない。周りを変えるのではなく、自分が変わるしかありませんよね。成功している人というのは、努力を惜しまず行動しているし、言葉が常に建設的です。自分もそうありたいと思って行動しています。



仕事と家庭のバランスをどのようにとっていますか？

私は朝が早く、平日は毎朝4時半に起きて、7時までには自宅でする仕事を済ませ、8時に出社します。帰宅するのは日によって異なりますが、だいたい18時~21時半ごろで、眠るのは21時の時もありますが、だいたい23時頃になります。

自分の中で、休みの日とか仕事の日とかは無いし決めていません。仕事が趣味みたいなところがありますから、24時間年中無休という感じでしょうか(笑)

出社しない日でも、仕事のことを考えながら家にいることが多いです。ただ、日曜日などは、仕事関係で人と会う予定があまり無いので、子ども達に付き合っ、リトルリーグ野球の送迎などもしています。それから、日曜の夜は必ず子どもと一緒に早い時間に夕飯を取るようにしています。そこだけは平日とは確実に違います。

仕事と家庭をはっきり区別しないような生活を「大変だね」「自分が経営者だからできるんだよ」と人から言われることがあります。私自身は辛いとか大変だとか感じることは全くなくて、私にとってはごく自然であたりまえのことなんです。むしろ今の生き方が心地いいくらい。これが私にとっての「ワーク・ライフ・バランス」とでもいえるのでしょうか。私のような経営者ではなくても、会社員の人だって休日買い物に行ったり、テレビを観たりしながら、ふと仕事のことを思い出して、職場で必要な物を買ったりメモしたりすることもあると思うんです。いつからい

つまでが仕事で後は全く仕事のことを考えませんか、休みの日は絶対に仕事はしませんとか、そういうふうに機械的に仕事と生活を分けて考えるという事ではなくて、バランスの取り方は、人それぞれの形があっていいと私は思っています。



子育てをしながら仕事をしていく上で難しいと感じることはありますか？

母親と経営者(ビジネス)という顔と頭の切り替えが、一番大変かもしれません。例えば、家でも仕事をするので、仕事関係の電話をしたりパソコンで仕事をしたりしているうちに、気が付いたらご飯の時間になっていて、子ども達がお腹をすかせているということがあるわけです。そうすると、一旦母親の頭に切り換えて家事をしたり、子どもの相手をしたりするのだけれど、仕事のことをずっと考えていたために子どもに対しても、ビジネス的、論理的になってしまうことがあるんです。でも、子どもにしてみたら、答えが欲しいのではなく、ただ聞いて欲しいだけということもありますよね。掃除洗濯等の家事は、作業なので苦になりませんし難しくはありませんが、子どもとの接し方はなかなか簡単にはいきません。

ただ、子どもとの関係で大事にしたいのは、母親である私が生き生きしている姿を子どもに見せるということです。「子は親の背中を見て育つ」と言いますが、私の笑顔を見れば、子どもも笑顔になるし元気になります。逆にイライラしていれば子どもも敏感に察してイライラしたり不安になったりしてしまいます。まず自分が笑顔でいられるように、イキイキとしていられるように努力することが結果として子どもの笑顔に繋がっていくのかなと思っています。



今後の目標は？

会社のために、私のために、子どものために、日々一生懸命仕事をしていくことが、結果として社会のために繋がっていくような事業をしたいと思っています。

ありがとうございました



平成21年度

未来館フェスティバル

9.5(土)-6(日)

今年もご家族やお友達と一緒に参加できるイベントも企画する予定です。お楽しみに！

詳細が決まりしだい、ホームページやメールマガジンでお知らせします

メールマガジンのご登録はこちらから

<http://www.f-miraikan.or.jp/pub/mmag/mmagMenu.aspx>



平成21年度

福島県男女共生センター

営業カレンダー

2009

4月

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

5月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

6月

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

7月

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

8月

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

9月

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

10月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11月

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

12月

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2010

1月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2月

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

3月

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

- 休館日 (年末・年始休暇含む)
- 休館日前日
- 未来館フェスティバル

午前9時～午後9時 (休館日前日：午前9時～午後5時)

- 図書室：午前9時～午後8時 (休館日前日：午前9時～午後5時)
- 相談室：午前9時～午後4時 (正午～午後1時はお休み)
※水曜日：午後1時～午後8時 (午後5時～午後6時はお休み、休館日前日：午前9時～午後4時)
- 福祉機器展示室：午前9時～午後5時

開館時間

未来館

News

"自分らしさ"を生かした未来へ

2009.3
No.35

■編集・発行 「未来館NEWS」

(財)福島県青少年育成・男女共生推進機構 福島県男女共生センター～女と男の未来館～

〒964-0904 福島県二本松市郭内一丁目196-1

TEL(0243)23-8301(代) FAX(0243)23-8312

ホームページアドレス <http://www.f-miraikan.or.jp>

メールアドレス mirai@f-miraikan.or.jp



この広報紙は、環境にやさしい大豆インキを使用しています。